

早期景気観測調査

【10-11月期 調査結果概要報告書】

令和元年12月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和元年11月19日(火)～11月29日(金)
4. 調査対象： 当所会員136事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 100件
7. 有効回答率： 73.5%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【10-11 月期の動き】

全体業況は2期ぶりに悪化。製造業、建設業は業況改善。向こう3ヶ月の業況は改善の見通し。

10-11 月期の全業種総合の業況DIは、▲28.0（前期比▲22.1ポイント）と2期ぶりに悪化となった。売上DI、採算DI、金融貸出しDIについても、それぞれ悪化に転じた。仕入単価DIは2期連続悪化となった。ただし、従業員DIは2期連続改善となった。

向こう3ヶ月の先行き業況は、改善の見通し。

業種別では、今期製造業で改善に転じ、建設業は4期連続改善となった。卸売業、小売業、サービス業で悪化に転じた。

製造業の業況DIは▲16.7（前期比5.0ポイント）と改善となった。売上DI、採算DI、仕入単価DIについてはそれぞれ改善に転じた。一方で従業員DIは悪化に転じ、金融貸出しDIも悪化となった。

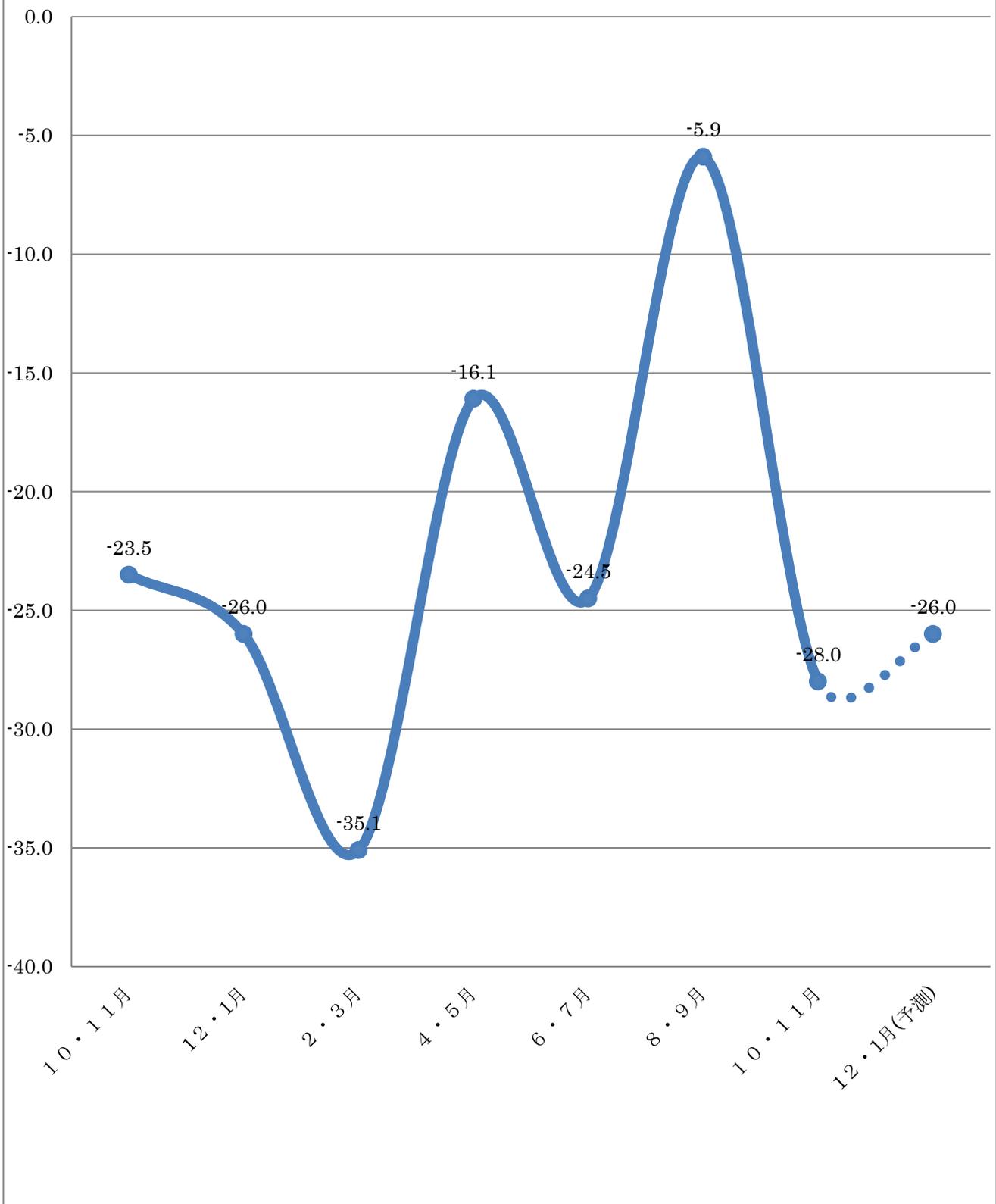
建設業の業況DIは11.1（前期比0.6ポイント）と4期連続改善となった。売上DI、採算DI、従業員DI、金融貸出しDIがそれぞれ悪化に転じた。一方で仕入単価DIは改善に転じた。

卸売業の業況DIは▲63.2（前期比▲42.1ポイント）と悪化に転じた。採算DIも悪化に転じた。従業員DIは2期連続悪化となった。一方で仕入単価DIは2期連続改善となり、売上DI、金融貸出しDIは横ばいとなった。

小売業の業況DIは▲31.8（前期比▲27.6ポイント）と悪化に転じた。売上DI、採算DI、金融貸出しDIについてはそれぞれ悪化に転じた。仕入単価DIは2期連続悪化となった。一方で従業員DIが2期連続改善となった。

サービス業の業況DIは▲41.2（前期比▲53.7ポイント）と悪化に転じた。売上DI、採算DI、金融貸出しDIについてはそれぞれ悪化に転じた。仕入単価DIは2期連続悪化となった。一方で従業員DIは2期連続改善となった。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲28.0	▲26.0	▲28.0	▲26.0	▲41.0	27.0	▲2.0

10-11月期の全業種総合の業況D I は、▲28.0（前期比▲22.1ポイント）と2期ぶりに悪化となった。

項目別では、売上D I（▲5.0→▲28.0）、採算D I（▲12.9→▲26.0）、金融貸出しD I（4.0→▲2.0）はそれぞれ悪化に転じた。仕入単価D I（▲40.6→▲41.0）は2期連続悪化となった。ただし、従業員D I（26.7→27.0）は改善となった。

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲26.0と改善する見通し。

製造業

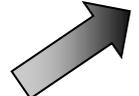
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲16.7	▲20.8	▲4.2	▲16.7	▲25.0	8.3	▲4.2

業況D Iは▲16.7（前期比5.0ポイント）と改善となった。

項目別では、売上D I（▲13.0→▲4.2）、採算D I（▲34.8→▲16.7）、仕入単価D I（▲34.8→▲25.0）についてはそれぞれ改善となった。一方で従業員D I（17.4→8.3）、金融貸出しD I（0.0→▲4.2）については悪化に転じた。

向こう3ヶ月の業況は、▲20.8と悪化する見通し。

建設業

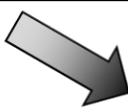
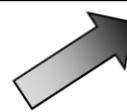
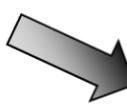
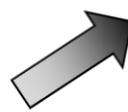
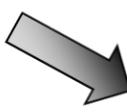
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
11.1	▲16.7	0.0	▲11.1	▲44.4	61.1	5.6

業況D Iは11.1（前期比0.6ポイント）と4期連続改善となった。

項目別では、売上D I（26.3→0.0）、採算D I（▲5.3→▲11.1）、従業員D I（63.2→61.1）、金融貸出しD I（15.8→5.6）はそれぞれ悪化に転じた。一方で仕入単価D I（▲63.2→▲44.4）は改善に転じた。

向こう3ヶ月の業況は、▲16.7と悪化する見通し。

卸売業

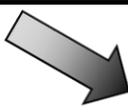
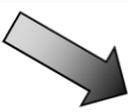
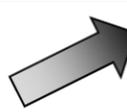
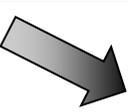
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲63.2	▲36.8	▲47.4	▲42.1	▲31.6	26.3	5.3

業況D Iは▲63.2（前期比▲42.1ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上D I（▲47.4→▲47.4）は横ばいとなった。金融貸出しD I（5.3→5.3）は2期連続横ばいとなった。採算D I（▲21.1→▲42.1）は悪化に転じた。一方で仕入単価D I（▲36.8→▲31.6）は2期連続改善となった。従業員D I（31.6→26.3）は2期連続悪化となった。

向こう3ヶ月の業況は、▲36.8と改善する見通し。

小売業

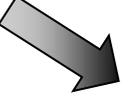
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲31.8	▲31.8	▲40.9	▲27.3	▲50.0	13.6	▲4.5

業況D Iは、▲31.8（前期比▲27.6ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上D I（0.0→▲40.9）、採算D I（▲4.2→▲27.3）、金融貸出しD I（4.2→▲4.5）についてはそれぞれ悪化に転じた。仕入単価D I（▲29.2→▲50.0）は2期連続悪化となった。一方で従業員D I（8.3→13.6）は2期連続改善となった。

向こう3ヶ月の業況は、▲31.8と横ばいの見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲41.2	▲23.5	▲52.9	▲35.3	▲58.8	35.3	▲11.8

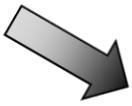
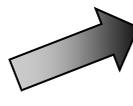
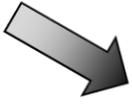
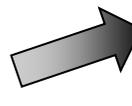
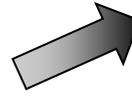
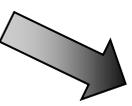
業況D Iは▲41.2（前期比▲53.7ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上D I（12.5→▲52.9）、採算D I（6.3→▲35.3）はそれぞれ悪化に転じた。仕入単価D I（▲43.8→▲58.8）、金融貸出しD I（▲6.3→▲11.8）は2期連続悪化となった。一方で従業員D I（18.8→35.3）は2期連続改善となった。

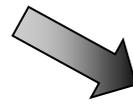
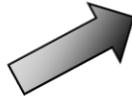
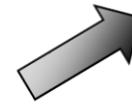
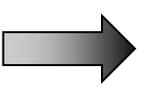
向こう3ヶ月の業況は、▲23.5と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

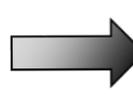
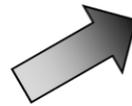
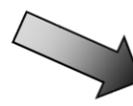
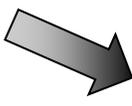
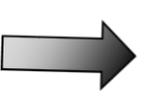
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

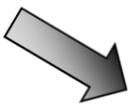
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

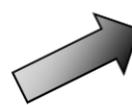
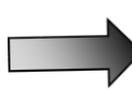
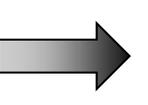
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

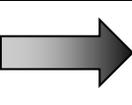
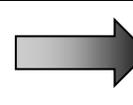
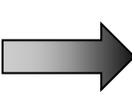
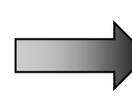
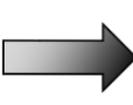
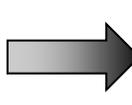
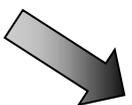
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

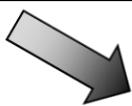
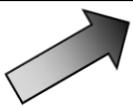
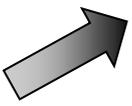
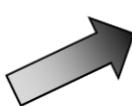
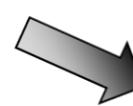
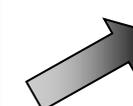
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

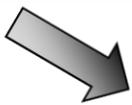
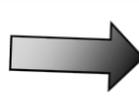
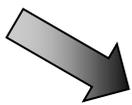
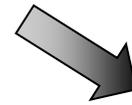
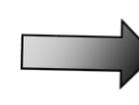
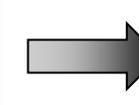
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

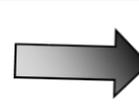
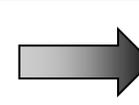
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

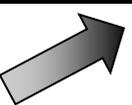
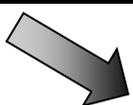
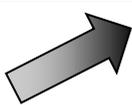
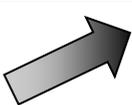
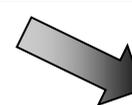
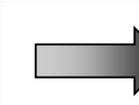
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

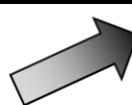
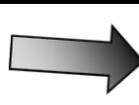
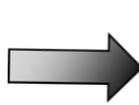
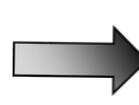
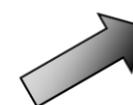
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

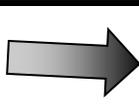
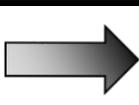
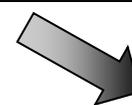
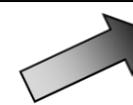
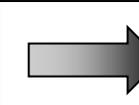
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

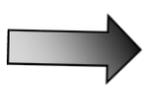
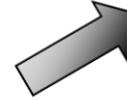
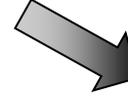
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

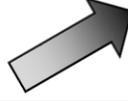
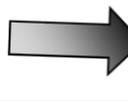
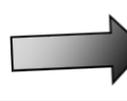
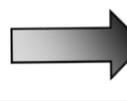
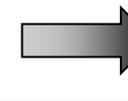
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

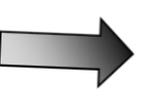
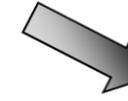
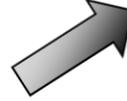
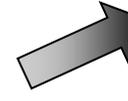
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

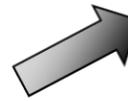
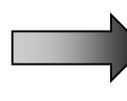
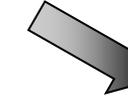
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

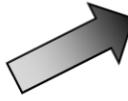
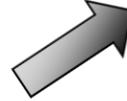
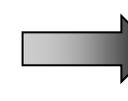
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・ 想定範囲ではあったが、10月以降売上低調。消費増税による前倒出荷の反動と相次ぐ自然災害による引合いの落ち込みが要因と思われる。12月については昨年を超える大口注文があり、昨年をクリア予測も予断を許さない状況。
- ・ 暖冬のため、売上が減少。

製造業（工業製品）

- ・ 携帯電話用では音叉型水晶振動子が好調です。
- ・ 引き続き変わらず、すべての面で右肩上がりです。
- ・ 昨年同期と比較し、輸出売上高の減少が著しい。米中貿易摩擦の長期化及び円高傾向が要因。

製造業（宝飾）

- ・ 10月の各小売店の売り上げ状況は消費増税の影響で今年一番の落ち込みの店舗が多く見受けられた。

製造業（ニット・アパレル）

- ・ 先行きは今のところ読み切れない。相変わらず不透明な先行きだが、必ずしも悲観的とは思わない。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・ 需要は多くなく資源不足による価格上昇のため売り上げが下降。

卸売業（その他）

- ・ 台風の影響による土木関係の現場納品のズレ込が発生。
- ・ 天候不順、台風の影響による売上減少したが、年末に向けて業況は回復している。

【建設業】

建設業（建築）

- ・ 建設業界の慣習が変わらず働き方改革に程遠い現状です。

建設業（土木）

- ・ 業界の課題は技術者不足だと思われる

建設業（鉄鋼）

- ・ 来期に向けては新規物件は減少傾向。補修、修繕工事は増加傾向。

【小売業】

小売業（趣味・日用品）

- ・ 不変というのは良い意味ではなくこれ以上落ちようがないと解釈します。

小売業（食料品）

- ・季節的に売り上げが増加傾向。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・台風でのキャンセル以後観光客が少なく、土曜日のみ予約が入る感じで11月も同様でありあまり良くありません。

サービス業（観光）

- ・10月の台風の影響がまだ多大にあり、観光客が減少。売上低調のまま推移。

サービス業（飲食その他）

- ・鰻の最需要期は過ぎたのですが仕入価格は高止まり。消費増税後お客様が外食を控えようとしている。
- ・10・11月は台風、消費増税の影響で売上減少した。12・1月は売上増加に転じると思う。
なお、人手不足は長期にわたり不足している。

以上

